

事業番号	10 04 06	事業改善シート（令和7年度実施事業分）					☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☒ 補正予算案	☐ 点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課					
		実施期間	S33 ～	E-mail	choju @ pref.nagano.lg.jp					

1 現状と課題

- ・野生鳥獣による農林業被害は、10年間で約4割減となるなど減少傾向にあるが、近年は減少幅が小さくなっている。
- ・農林業被害防止のためには、緩衝帯整備や誘引物の除去を行う「生息環境対策」、侵入防止柵設置等の「防除対策」、加害個体等を対象とした「捕獲対策」及び「ジビエ振興対策」を組み合わせた総合的な対策が必要となる。

2 事業目的

- ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指すとともに、信州ジビエの活用により、農山村の活性化に資する。

3 事業目的を達成するための取組

①地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策

- ・ツキノワグマによる人身被害ゼロを目指して、きめ細かな情報発信を展開するほか、市町村におけるゾーニング管理導入を支援
- ※その他の事業は当初予算及び9月補正のとおり

②特定鳥獣保護管理の推進

当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	農林業被害額	千円	738,012	774,674	↘	829,804 (速報値)	↘	759,181	令和5年度の被害額を基準に今後5年間で被害額の-5%を達成するため目標値を設定している。
②	第二種特定鳥獣管理計画の計画数	件	5	5	→	5	→	5	生息数等が増加している5つの野生鳥獣に関して生息状況調査や特定委員会による検討を実施するため目標値を設定している。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R7年度	0	504,284	55,801	32,512		560,085	162,947		8.0
R6年度	0	407,381	△ 18,398			388,983	99,238	357,273	8.0
R5年度	5,841	476,440	△ 110,576			371,705	91,799	326,025	8.0

事業番号	10 04 06	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	狩猟対策事業		28,415 千円	37,750 千円	予算現額 107,902 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	免許事務費	委託	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施 狩猟免許試験 10地域で実施予定		
2	県営射撃場運営事業	直接	射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備 整備箇所 1か所（県営総合射撃場）		
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者に講習を実施 講習会 10回実施予定		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	鳥獣保護管理事業		38,374 千円	50,379 千円	予算現額 61,644 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	鳥獣保護監視員の任用等	直接	鳥獣保護監視員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施 鳥獣保護監視員 126人		
2	特定鳥獣保護管理事業	直接 委託	・専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催 ・野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、第二種特定鳥獣管理計画策定獣種（R7はツキノワグマ）の生息状況等調査を行い、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施 ・R6年度に実施した調査結果をもとに第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ）を策定 特定鳥獣保護管理検討委員会11人、会議 3回開催 第二種特定鳥獣管理計画（第6期ニホンジカ管理）策定		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
3	野生鳥獣総合管理対策事業		281,686 千円	294,078 千円	予算現額 374,096 うち今回 補正額 32,512 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	・野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 ・市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 ・ニホンジカ等の食害から再造林後の苗木を守るためのわなの見回り、機器の保守作業等の活動経費を支援 ・ツキノワグマの里地への出没防止及び人身被害の回避のため、クマの専門家派遣による指導・普及啓発の実施や、市町村が地域の出没要因や出没時の体制に応じて取り組む対策に対する支援を実施 ・市街地等人身被害に直結する場所に出没したクマの探索、捕獲等に要する経費に対する支援 ・ツキノワグマ緊急銃猟の対応マニュアルの作成や訓練の実施、緊急銃猟実施に対する経費を支援		
			支援対象 延べ185団体、クマ専門家派遣 90回		
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	直接 委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲実証を実施 センサーカメラ等を活用した効率的な手法による捕獲目標数 50頭		
3	野生鳥獣保護管理体制整備事業	直接 委託	・地域の被害対策における着実な推進と必要な人材の確保を図るため、実践的な研修等を実施 ・ツキノワグマの市街地出没時に関係機関が連携し迅速かつ的確な対応ができるよう、緊急出没訓練を実施するとともに関係資機材を配備する 研修会等の実施 21回、緊急出没訓練の実施 4 地域		
4	クマ広報プロジェクト事業	直接 委託	・啓発動画の作成、キャンプ場、登山口等への看板の設置など、ターゲットに応じた分かりやすく身を守る行動につながる情報を効果的に発信 啓発動画の作成 1 本		
5	ツキノワグマゾーニング管理導入推進事業	委託	・市町村のゾーニング管理導入を支援 ・市町村向けゾーニング管理導入研修会の開催 県全域のゾーニング案の作成		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
4	ツキノワグマ被害対策緊急対応事業		— 千円	— 千円	予算現額 4,225 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ツキノワグマ被害対策緊急対応事業	直接	ツキノワグマ出没警報の発出時など、人身被害のリスクが高まった状況において、人身被害を回避するための緊急的な対策を実施 緊急的な対策実施箇所数 50箇所		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
5	信州ジビエ総合振興対策事業		17,230 千円	6,476 千円	予算現額 12,218 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ジビエ生産体制整備	直接 補助金	衛生管理の専門家を通じ、食肉加工施設への衛生管理に関する指導を実施 安全なジビエを提供するための放射性物質検査を実施 食肉加工施設 2 施設への指導、放射性物質検査 500件		